

「住み続けたい」 まちを目指した分野に重点!!

度の目玉事業は



- ①都市計画道路白岡宮代線及び白岡駅西口線の整備の推進
- ②民間保育所整備の推進、幼児教育・保育無償化、こども医療費支給による切れ目のない支援の強化
- ③防災用マンホールトイレの整備、防犯灯や路面標示など交通安全施設の設置
- ④子どもたちが学びやすい学校環境の整備ほか、文化・教育環境の充実

総括質疑

問 物件費のうち、全公共施設などの電気料金は。また、LED化の推進状況は。

答 2年度の一般会計当初予算に係る電気料金は、1億4622万2千円であり、元年度と比較すると561万3千円増加している。主要部分がLED化しているのは、本庁舎、生涯学習センター〔こもれびの森〕、南小学校であり、その他の施設については、一部対応済や未対応など様々である。LEDは消費電力を抑制することにより電気料を抑えることが期待できるが、導入費用等の課題があるため、全ての公共施設のLED化は進んでいない。今後は、導入費用を考慮しつつ、施設の改修等のタイミングに合わせるなど、導入時期を見計らいながら、LED化を進めてまいりたい。



問 埼玉東部消防組合における当市の負担について、今後の見通しは。

答 元年度、消防組合負担金における構成市町の負担方法について、消防局及び構成市町の関係課を構成員とする負担金検討委員会が設置され、これまでに3回の会議が開催されている。今後の負担方法の見直しについては、この検討委員会において協議が行われている段階のため、5年度以降の負担金の見通しについては、現時点では明確に申し上げることはできないが、増額となることが想定される。

問 第6次総合振興計画策定事業の予算652万5千円のうち600万円が委託料である。業者に丸投げではないか。「体制・進め方・業者の作業について」伺う。

答 委託料は、人口推計、現状分析、課題整理、第5次総合振興計画の検証、市民意識調査など、計画策定に当たっての基礎的業務を実施する費用である。市民意識調査などの情報の集計や分析などを行うもので、経験と専門知識を有する民間事業者へ委託し、市職員の策定作業を補完・支援するものである。

予算案全般に対し

反対討論



国の財政政策により臨時財政対策債が膨らみ、財政を圧迫しています。消費税の引き上げ問題なども併せて、国に是正を求めるべきです。

また、原発に頼らないエネルギー政策を市としても進めるべきです。このような不十分な内容を指摘し反対します。

賛成討論

新型コロナウイルス禍により経済の先行きが不透明な中であって、可能な限りの財政健全化に向けて努力し、将来志向・安心志向の公共投資を行い、子育て世代を元気づけることによる消費喚起を促していることを高く評価し、当初予算案に賛成します。